

1 スポーツのまちづくり

- (1) 2020(平成32)年東京オリンピックのサーフィン会場誘致を目指す、磐田市、下田市、牧之原市の3市長は、昨年12月25日、サーフィンが正式種目に決定したら静岡の海を会場として使用してもらうよう川勝知事に要望しました。知事は東京五輪の森組織委員長に要望を伝えることを約束しました。サーフィンの開催会場は、千葉県や神奈川県などが名乗りを上げており、東京五輪の追加種目は来年8月にIOC総会で決定する見通しと伺っています。

磐田市の豊浜海岸がサーフィン会場になれるよう期待しています。会場として決定すれば、磐田市を世界に情報発信することができます。磐田市が現在、会場誘致を目指して取り組んでいることを伺います。

- (2) サッカー、ラグビー、卓球等地域資源を有効に発信し、市の活性化に活かすことについてどう考えているのか伺います。
- (3) グラウンドゴルフは、高齢者を中心に大変盛んに行われています。地区社協等で多世代交流で行われている所もあります。子どもから高齢者まで親しめる市民スポーツとして、健康づくり地域づくりになっています。

合併10周年記念事業として、磐田市5地区選抜グラウンドゴルフ大会は、予選から各地で盛り上がっています。3月19日には決勝が行われます。5地区選抜大会を今後も継続をしていくのか伺います。

グラウンドゴルフの全国大会の誘致を考えているのか伺います。

2 子育て支援・教育

- (1) 子育て支援センターの運営上の課題と対策を伺います。
- (2) 子育て支援センターや相談センターに来れないで、悩みを抱えている親への支援はどのようにしているのか、職員や相談員が出向いていくのか伺います。
- (3) 子育て支援センターの対象者は乳幼児から小学生低学年と思われるが、小学生中学年から18歳くらいまでの子育て相談体制を伺います。出張相談も行われているのか、また、1カ所で子育て相談できる体制が必要と考えるが現況を伺います。
- (4) 子育て中であっても、親、特に母親が社会参加できる仕組みが大切と考えます。イベント、講演会、セミナー等に子どもを連れて参加できる仕組みや主催者の理解と参加者への周知が必要と考えます。現状と課題と対策を伺います。
- (5) 小中学生の広島平和記念式典参加は、平和教育、命を学ぶ、生き方を学ぶ教育として評価しています。

記念式典に参加できなかった小中学生には、原爆ドームや原爆資料館を見ることを奨励し、助成金を出すことはできないか伺います。

中学生の修学旅行先として、広島市を入れることはできないのか見解を伺います。

- (6) 中学生の海外派遣研修は、帰国後、参加者は体験発表会を出身校で行い、全生徒が外国への関心と理解を深めることにつながっています。

参加者を拡大することについての考えを伺います。

3 産業振興

- (1) 政府は、農林水産物、食品の輸出を拡大し2020年に1兆円にする目標を掲げています。静岡県においても推進の動きがあります。磐田市の取り組みについて伺います。
- (2) 農業・工業の体験型観光の推進は、地域資源の掘り起こし、交流人口拡大や産業振興につながります。取り組みの現状と今後の展開について伺います。
- (3) 経済産業省は、平成26年度から、各都道府県に1カ所ずつ地域の支援機関と連携しながら、中小企業・小規模事業者が抱えるさまざまな経営相談に対応する「よろず支援拠点」を整備しました。

市内企業の「よろず支援拠点」の活用状況と、市としての課題について伺います。

市内の支援機関との違いについて伺います。
- (4) 産業振興で地方創生として市が特に取り組もうとしている事業を伺います。